

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

| 学校名        | 埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校                                  | Cグループ  |
|------------|--|--|
| 項目         | 調査の観点  | 取組状況に関する所見   |
| 目指す学校像     | 目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。                    | 創立時の趣旨を踏まえ、目指す方向が的確に示された学校像である。学校を取り巻く状況や入学してくる児童生徒の実態、新たに求められるニーズなどを把握・分析し、学校像を検討していくことが期待される。                    |
| 重点目標       | 学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。 | 学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。保護者・地域の期待や児童生徒の実態の変化などを踏まえ、課題の解決に向けて、中期的な視点からより一層重点化することが望まれる。                          |
| 重点目標達成への取組 | 重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。                   | 学校自己評価システムを活用し、分掌・学部等が連携して、組織的に取り組む意識が浸透している。評価項目の設定については、重点化された具体的な年度達成目標となるように工夫していただきたい。                        |
|            | 方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。                           | 医療的ケア体制の定着やヒヤリハットに係る取組など、重点目標の達成に向けた方策が的確に実施されている。評価指標については、取組指標と成果指標をうまく組み合わせ、教職員間で目標の達成イメージが共有できるものを設定することが望まれる。 |
|            | 校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。        | 校長が学校の現状を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を持って授業研究などに取り組み、課題解決に向けて意欲的に教育活動を進めている。                 |
|            | 学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。        | 年度評価・学校関係者評価や保護者アンケートなどを基に課題を明確にして、次年度の目標・方策に引き継ぎ、解決に向けて組織的に取り組んでいる。保護者アンケートについては担当分掌等で検討し、対応案を示すなど丁寧にフィードバックしている。 |
| 特記事項       |  |  |